中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版D

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(2) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という

(3) 中国で作られた詩を（　　）という

(4) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(6) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という

(7) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(8) 訓読のときに読まない字を（　　）という

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(11)「蛇足」の話は（　　）に書かれている

(12)「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている

(13) 欠点がなく完全なことを（　　）という

(14) むだな心配をすることを（　　）という

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(17) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(18)「矛盾」の話は（　　）に書かれている

(19)「子曰く」の「子」は（　　）のことである

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Dの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　押韻

(2) 返り点や送り仮名などをまとめて（　　）という　訓点

(3) 中国で作られた詩を（　　）という　漢詩

(4) 漢字かなまじりの文に書き直したものを（　　）という　書き下し文

(5) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　起承転結

(6) 漢字だけで書かれた漢文を（　　）という　白文

(7) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という　上下点

(8) 訓読のときに読まない字を（　　）という　置き字

(9) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　再読文字

(10) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　レ点

(11)「蛇足」の話は（　　）に書かれている　戦国策

(12)「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている　孟子

(13) 欠点がなく完全なことを（　　）という　完璧

(14) むだな心配をすることを（　　）という　杞憂

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　呉越同舟

(16) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　他山の石

(17) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　助長

(18)「矛盾」の話は（　　）に書かれている　韓非子

(19)「子曰く」の「子」は（　　）のことである　孔子

(20) 古い物事から新しい知識を得ることを（　　）という　温故知新